

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の実施について開催頻度が少なく地域の方へより一層、ホームの状況を説明する機会を設けることが必要である。	地域の方へホームでの活動や認知症介護の現状を理解していただくために定期的に運営推進会議を開催し情報収集、及び情報提供ができる場を設ける。	地域の自治会の役員や市の高齢介護課の担当者、地域包括支援センターの担当者、ボランティアの担当者などへ会議の開催について案内を作成し参加していただけるように調整する。又、会議実施後はホーム内に議事録として話し合われた内容を公表する。	3ヶ月
2	33	利用者様の重度化にあたって終末期の対応について随時、ご家族の意向を踏まえた対応が今後、必要になってくる。又、ご家族様、利用者さまの意見を記録として整備する必要がある。	入居時に説明している「重度化における対応に係わる指針」を参考にして再度、ご家族さまと面談を行い実際に利用者さまの終末期にあたっての対応方法を再度確認し、記録へ残す。(ケース記録内)	現状の利用者さまで終末期にあたっての対応が早急に必要な方を吟味して対象の方から順次、ご家族さまへの説明を行い、ホームとしてどのような対応ができるかを再度、確認する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月